



昭和 41 年土木学会大会開催にあたって

土木学会北海道支部長
土木学会大会実行委員長

遊 佐 志 治 磨

陽春の候、会員各位ますますご健勝にそれぞれご精励のことお慶び申し上げます。

さて、第 52 回通常総会および第 21 回年次学術講演会は、すでに発表のとおり、本年 5 月 27 日より札幌市において開催されることになりました。

なお、この機会に総合講演会、見学会および懇親会を実施する慣例となっていますので、これら諸行事をあわせて土木学会大会と略称し、各方面のご協力のもとに、それぞれ準備を進めております。

最近、北海道は“日本のホープ”としてあらゆる角度から国民注視的となってきたており、豊富な資源と雄大な自然美のもとに、新しい近代的文化を建設しようという熱意と努力とが、北海道開発事業の発展とともに、着々、実効をあげてきております。特に、青函トンネル調査坑の着工や苫小牧工業港の開港など、“住みよく、美しく、企業に魅力ある北海道”建設へ拍車をかけたものといえましょう。この間、北海道開発第 1 次 5 年計画、第 2 次 5 年計画の終了にひきつづいて、昭和 38 年度より、全国総合開発計画の一環として、第 2 期北海道総合開発計画が推進され、道路、橋梁、ダム、水力発電、火力発電、河川、砂防、海岸、鉄道、港湾工事など、意欲的な建設工事が、続々日の目を見るに至っております。

しかしながら、北海道のように開発の歴史が浅く、広大な面積をもち、かつ寒冷積雪という苛酷な気象条件下にある地域の建設工事には、多くの困難な問題点があり、いまなお未解決のまま残されている技術的課題も少なくありません。たとえば、道路の凍上、融雪洪水、材料の低温脆化など、いわゆる“寒地土木”に関するものや、泥炭、火山灰などの特殊地盤に関するものなど、今後の土木工学の進歩と発達にまつ工事や問題が山積しております。

つきましては、この機会に会員諸氏多数この大会に参加されまして、諸行事を盛んにしていただくとともに、北海道の土木事業に対する認識を新たにさせていただき、あわせて、当支部会員の士気を叱咤激励して下されば幸いです。

<完成した北海道大会ポスターの縮図>

土木学会 第52回通常総会 第21回年次学術講演会

■通常総会
日時 / 昭和41年 5月27日(金) 14:00 - 17:00
場所 / 日本生命ビル(札幌市北 3 条西 4 丁目)

■総合講演会(一般公開)
日時 / 昭和41年 5月28日(土) 9:00 - 12:00
場所 / 北海道大学クラーク会館(北海道大学構内)

題目および講師
9:05 - 10:00 日本産業の特長性と臨海工業地帯建設事業の推移 講師 岡部三郎
10:05 - 11:00 北海道開拓100年の歩み 講師 高倉新一郎
11:05 - 12:00 北海道開発の現況 講師 遊佐志治磨

■年次学術講演会
日時 / 昭和41年 5月29日(土) 13:00 - 17:00
29日(日) 9:00 - 17:00
場所 / 北海道大学 教養館(工学部・農学部・医学部)

■懇親会(会費500円)
日時 / 昭和41年 5月28日(土) 18:00 - 19:30
場所 / 富の森ガーデン(札幌市郊外富の森・北海道神宮裏)

■見学会(会費A班 200円 B班 5,000円 C班 8,500円)
A班 / 札幌市内コース 3時間 5月30日(日)
B班 / 登別・洞爺コース 5月30日(日) - 31日(火) 登別泊
洞爺管轄 16:00
C班 / 阿寒コース 5月29日(日) 室行 - 31日(火) 川湯温泉泊
洞爺管轄 17:30